

都立葛飾ろう学校放課後子供教室

■実施組織

文泉こどもクラブ実行委員会

構成メンバー 学生ボランティア（筑波技術大学・聖徳大学）

地域ボランティア（かつろうサポーターズ） 教員（チーム文泉）

保護者（PTA一人一活動）

■プログラム内容

午後 学習教室（約1時間、年8回）

ものを作る教室（筑波技術大学オリジナル教材 年6回）

からだを動かす教室（風船バレー等 年1回）

ワークショップ・表現教室（年1回）

本校食物系料理教室（年2回）

休日 夏祭り・サンサンカーニバル（年1回）

ダイバーシティイベント（子どもたちは手話指導者側、年2回）

■実施規模

年間：土曜日12日、休日1日

■活動のPR

文泉こどもクラブの8年目がスタートしました！！

新型コロナが5類になったことで葛飾ろう学校の特色である専攻科食物系の料理教室が復活します。

通常活動では、聖徳大学の学生さんに見てもらいながらの学習を1時間。その後に筑波技術大学生による「ものづくり教室」や地元聴覚障害者連盟の協力で「からだを動かす活動」を行ないます。

筑波技術大学は日本唯一の視覚障害者と聴覚障害者の為の大学で、本校の卒業生をはじめ、全国から集まった聴覚障害者が学んでいます。地元聴覚障害者連盟の方々はもちろん、料理教室をしてくれる専攻科食物系の生徒も、指導してくれる皆さんが子どもたちの聲の先輩であり、ロールモデルとして活躍してくれる姿は頼もしいです。

学習時間もからだを動かす時間も、公教育の中では出会えない学びがあると考えています。